

目立つところに貼っておくと便利

「水抜き」5原則

水抜きの基本手順

- 1、最低気温が-4℃以下のときは必ず水抜き
- 1、最高気温が氷点下のときは必ず水抜き
- 1、長期間、留守にするときは必ず水抜き
- 1、日中に冷え込みそうなら外出前も水抜き
- 1、帰りが遅くなりそうときは外出前も水抜き

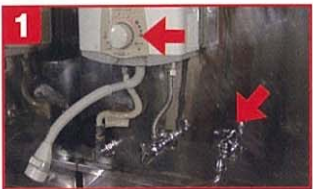
※元栓の場所・水抜き方法は建物によりさまざまです。必ず大家さんと確認しておきましょう!

※留守にするときもブレーカーは落とさないでください! (建物によっては電動水抜き装置や凍結防止ヒーターが作動しています)

台所 kitchen



水道・湯沸かし器



1 水道の蛇口を全開にし、水を流しっぱなしに。湯沸かし器からも同様に水を出す



2 水道の蛇口を開けたままにして、元栓を閉める



3 湯沸かし器の水抜き栓を外す。これで、台所の水道と湯沸かし器の水抜きが同時に完了

給湯器 hot water supply system



うっかり閉め忘れないように



1 水を流しっぱなしにして



2 元栓を閉める



3 給湯器の本体は屋外に設置されているため、室内よりも凍結しやすい。予想気温に注意し、冷え込むようなら必ず水抜きをしよう。

※電動水抜き装置(手動式)がある場合は水抜きボタンを押して下さい。

風呂 bath



シャワーも下向きに置く



1 水を流しっぱなしにして、シャワーのヘッドは下に置いてホース内の水が抜けるように



2 元栓を閉める



バランス釜の場合

風呂釜についている水抜き栓を外す。使うときは、水が出ることを必ず確認してから点火。凍結していると爆発の危険がある。湯沸かし器についても同じ。

トイレ toilet



外壁に面したトイレは特に注意



1 レバーをあげたままにし、水を流しっぱなしにして



2 元栓を閉める



3 タンクの水がからっぽになっていればOK。

トイレの室温は部屋の温度よりも低くなりがち。面倒がらずにきちんと水抜きしよう。凍結防止ヒーターがない、長期間留守にする時は便器に不凍液を入れておこう。温便座や凍結防止ヒーターのついていない場合は、ふだんは水抜きしなくて大丈夫。ただし、スイッチを切ったり、ブレーカーを落とさないようにしましょう。(温便座はふたを閉める習慣を。電気代の節約になります)

元栓は完全に止まるまで回して下さい



学生総合共済(火災共済)&学生賠償責任保険に加入しよう。

火災共済は火災だけでなく水道管などの凍結による破裂の保障もあります。冬本番に備えて加入しているかどうか確認しておきましょう。(解凍のみの工事は対象になりません)

加入の申し込み、問い合わせは大学の生協窓口へ。

または 全国大学生協共済生活協同組合連合会

☎ 0120-335-770 受付時間 平日9:40~17:30 土曜は13:00まで